

長岡市農村環境計画

概要版

悠久のながれとともに 豊かな自然と美しい故郷づくりを^{ふるさと}
～都市と農村が共栄する長岡～



①農村環境計画とは？

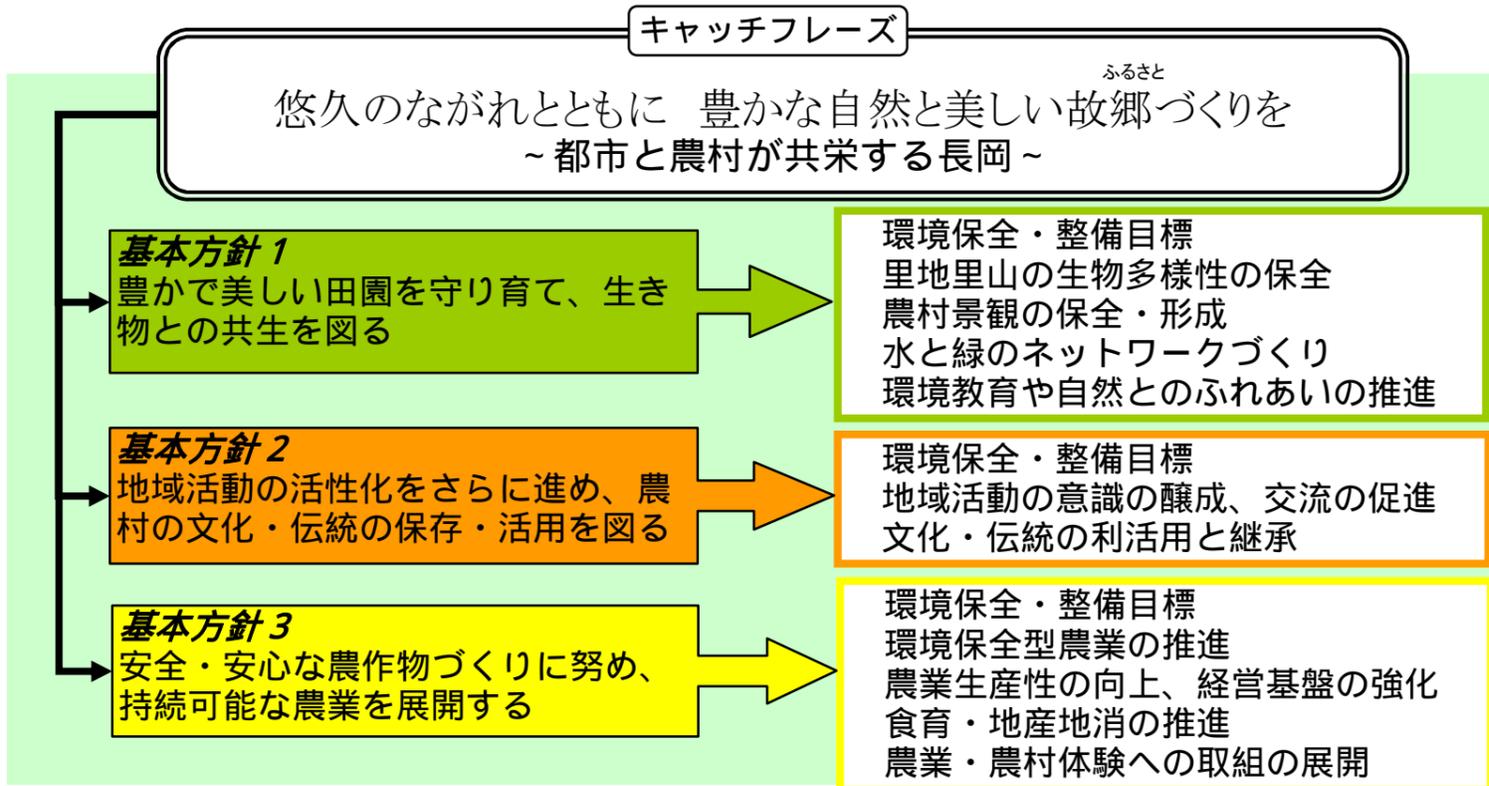
このたび、長岡市では「長岡市農村環境計画」を策定しました。

農業・農村は、食料生産の営み、また営みの場であるという本来の役割に加えて、洪水防止等の国土の保全、生き物の生息空間の提供、美しい風景の形成、市民のいこいの場の提供など様々な役割(「多面的機能」といいます)を持っています。

「農村環境計画」とは、ほ場や農業用排水路、農道などの農業生産基盤や、農村部の生活環境の整備を進めるにあたって、「多面的機能」を発揮していくため、自然(生き物や景観など)にどのように配慮すればよいのか、その基本的な方針を定めたものです。これからの農業農村整備はこの方針に基づき進められます。

ここにその概要をお知らせします。市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

②環境保全の基本方針と環境保全・整備目標



③計画の展開

本市には市街地、河川、集落、農地、山地など多様な環境があります。上記の環境保全・整備目標の達成に向けて、各地域の特徴や環境の違いを踏まえて目標を絞り込むと、より進みやすくなります。そこで本市全体で「エリア」という地域分けをし、その中でさらに力点を置いていく「ゾーン」という地域を設定しました。ただし、各エリアやゾーンに当てはめた目標は努力事項ですので、土地利用等を制限・規制・既定するものではありません。

エリア名	主要な環境保全・整備目標																	
	全多様な山の保全	物理地山のの保	里地山のの保	農村景観の保	農・村・成・の保	リ・ワ・ク・の・づ・く	水と緑のネットワーク	自然の推進	環境教育やふれあ	意識の醸成、交流	地域の活動の意	文化・伝統の継承	環境保全型農業	盤の上、生産性の基	農・業・の・推・進	食育・地産地消	展開への取組	農業・農村の体
多様な自然保全エリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自然と共に歩む田園創造エリア																		
交流・ふれあい推進エリア																		
美しい里山回復エリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自然と歴史の保全活用エリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
海と自然の保全エリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ゾーンが属するエリア名 ゾーン名	主要な環境保全・整備目標 (◎=ゾーンの重点的な目標、○=ゾーンが属するエリアの目標)																	
	全多様な山の保全	物理地山のの保	里地山のの保	農村景観の保	農・村・成・の保	リ・ワ・ク・の・づ・く	水と緑のネットワーク	自然の推進	環境教育やふれあ	意識の醸成、交流	地域の活動の意	文化・伝統の継承	環境保全型農業	盤の上、生産性の基	農・業・の・推・進	食育・地産地消	展開への取組	農業・農村の体
多様な自然保全エリア・美しい里山回復エリア・自然と歴史の保全活用エリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農による地域づくりゾーン				◎														◎
自然と共に歩む田園創造エリア・美しい里山回復エリア・自然と歴史の保全活用エリア・海と自然の保全エリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高生産性営農ゾーン													◎	◎				

④農村環境整備計画図



「環境保全型農業の推進」のイメージ



「水と緑のネットワークづくり」のイメージ



「農業・農村体験への取組の展開」のイメージ



「農業生産性の向上、経営基盤の強化」のイメージ



「農村景観の保全・形成」のイメージ



「環境教育や自然とのふれあいの推進」のイメージ

⑤計画推進のための取組

本計画を進めていくためには「農業者等(農業団体も含む)」「住民等(学校、企業等も含む)」「行政」の各主体が、各々の役割を生かして協力し合うことが大切です。

農業者等の取組...

景観や生き物などの自然や、食の安全・安心に配慮した営農を進めます。
農業や地域活動を通じて、都市と農村の交流に取り組みます。 ...など

住民等の取組...

農業の多面的機能や食の安全・安心について関心を持ち、理解を深めます。
消費者として地元の農産物を積極的に活用し、地産地消を推進します。 ...など

行政の取組...

農村環境の現状や地域活動の実態を把握し、それらの情報を的確に提供します。
各主体間のスムーズな連携を促し、合意形成の場と機会の創出に努めます。 ...など

⑥策定までの主な作業

アンケート調査

市内在住の一般成人(無作為抽出約1,500人)と、各地域から任意に選んだ中学校の一年生(約500人)を対象に、アンケート調査を実施しました。

自然環境を守る、より良くするための取組は？

〔一般成人〕

- 1位：河川や水路等の水質浄化
- 2位：生き物の生息生育場所を守る・つくる
- 3位：清掃活動や緑化活動を行う

農作物を作る以外の農地の機能は？

〔一般成人〕

- 1位：なごみや癒し
- 2位：洪水を防ぐ等の国土の保全・防災
- 3位：稲等の作物の呼吸による大気浄化

これからの農業農村に必要な取組は？(一般成人のみ対象)

- 1位：農業後継者、新規就農者を支援するしくみ・体制をつくる
- 2位：減農薬・減化学肥料農法、有機栽培等の環境保全型農業の導入、推進
- 3位：生き物と共生できるような、自然に配慮した農地・農業用施設の整備の推進

〔中学一年生〕

- 1位：河川や水路等の水質浄化
- 2位：清掃活動や緑化活動を行う
- 3位：生き物の生息生育場所を守る・つくる

〔中学一年生〕

- 1位：美しい農村風景の形成
- 2位：稲等の作物の呼吸による大気浄化
- 3位：なごみや癒し

農村部での生き物調査の実施

中之島地域(六所、興野地区)、長岡地域(滝谷地区)、小国地域(上岩田地区)で水生動物等の調査を実施しました。いずれの地区も十数～二十種類程度の生き物が確認され、全ての地区において貴重とされる生き物(レッドリスト・レッドデータブック記載種)も観察されています。



ヤリタナゴ(六所、滝谷)
国：準絶滅危惧



トウキョウダルマガエル(上岩田)
国：準絶滅危惧



マルタニシ(興野、滝谷、上岩田)
国・県：準絶滅危惧



タイコウチ(上岩田)
県：絶滅危惧 I

策定検討委員会の開催

農業関係者、学識経験者、各種団体代表者等から構成される「長岡市農村環境計画策定検討委員会」を平成19年度～20年度の間に4回開催し、議論を重ねました。



お問い合わせ先：長岡市農林整備課 農村環境係

TEL：0258-39-2224(直)/FAX：0258-39-2284

E-mail：nousinko@city.nagaoka.lg.jp

本紙は再生紙を使用しています。